

番号不明被災自動車の台数見込み及び処理状況について

1. 番号不明被災自動車の申請台数見込みの見直し

被災地自治体への調査(※)の結果、車台番号等が不明になるまで原型を留めていない自動車の台数が当初想定より少ないことが判明した。そのため、番号不明被災自動車の総台数見込みについて、以下の通り平成 24 年 3 月開催の第 45 回資金管理業務諮問委員会で報告した台数 **約 23 千台から約 14 千台 へ見直す**。

※平成 24 年 8 月に実施した被災地 3 箇所の現地確認および同年 12 月迄実施した約 50 自治体への個別電話ヒアリング。

見直し要因(a)

3 月時点で仮置き場に移動されていない被災自動車として約 16,000 台を想定し、総数約 86,000 台と見込んでいたが、実績約 71,000 台と少なかったこと。(現在被災車両の仮置き場への搬入はほぼ終了しているとのこと。)

	平成24年3月時点		平成24年12月時点 (見直し後)	
		構成比		構成比
被災自動車の総数見込み(内訳①)	約86,000台	100%	約71,000台	100%
仮置き場に移動済み車両(環境省調査値)	約69,200台	80.5%		
仮置き場に未移動の車両(JARC推定差分値)	約16,000台	18.6%		

見直し要因(b)

被災自動車の総数のうち、番号不明被災自動車として想定した比率 25.7%が 19.7%と低く見込まれることによる。

	平成24年3月時点		平成24年12月時点 (見直し後)	
		構成比		構成比
被災自動車の総数見込み(内訳②)	約86,000台	100%	約71,000台	100%
車両ナンバーや車検証、車台番号により所有者等が判明する被災自動車の台数見込み	約63,890台	74.3%	約57,000台	80.3%
番号不明被災自動車の台数見込み	約23,000台	25.7%	約14,000台	19.7%

(自治体毎の申請詳細は別紙参照)

2. 番号不明被災自動車の処理状況について

本財団に申請された番号不明被災自動車の処理状況は下表のとおり。

- ① 平成 24 年 3 月 31 日時点と比較するとマニフェスト発行率は 5.6pt 上昇。
- ② 同様に各物品の払い渡し等が進んだことによりリサイクル・処理進捗率が上昇。

これらの状況から番号不明被災自動車の処理状況は概ね問題なく進捗していることが伺われる。

平成24年 3月31日時点

	A 申請数 (台)	B 引取済 (台)	引取 進捗率 (B/A)	品目	i メーカー 等への払 渡件数	ii 特預金 化件数※	C 計 (i + ii)	リサイクル・処理 進捗率 (C/A)
合計	8,223	6,734	81.9%	ASR	3,312	0	3,312	40.3%
				エアバッグ類	3,610	1,491	5,101	62.0%
				フロン類	1,539	1,992	3,531	42.9%

平成24年10月31日現在

① ↓ +5.6pt								
合計	10,088	8,826	87.5%	ASR	7,103	89	7,192	71.3%
				エアバッグ類	5,832	2,400	8,232	81.6%
				フロン類	2,724	4,649	7,373	73.1%
岩手県	2,440	2,218	90.9%	ASR	2,109	89	2,198	90.1%
				エアバッグ類	1,932	266	2,198	90.1%
				フロン類	952	1,237	2,189	89.7%
宮城県	7,526	6,505	86.4%	ASR	4,892	0	4,892	65.0%
				エアバッグ類	3,848	2,084	5,932	78.8%
				フロン類	1,752	3,330	5,082	67.5%
福島県	104	103	99.0%	ASR	102	0	102	98.1%
				エアバッグ類	52	50	102	98.1%
				フロン類	20	82	102	98.1%
青森県	18	0	0.0%	ASR	0	0	0	0.0%
				エアバッグ類	0	0	0	0.0%
				フロン類	0	0	0	0.0%

※特預金化：引取時の装備確認において、フロン類やエアバッグ類の装備が付いていないと判断される場合等、リサイクル処理を要しないために使われなかったリサイクル料金は特定再資源化預託金（特預金）となる。本財団は番号不明被災自動車については円滑なリサイクル処理を図るため、申請受付時に全ての特定再資源化等物品に対して預託を行っているが、被災によるフロンガスの消散、エアバッグ展開済の車両等が発生しており、このようなケースでは特預金として扱われる。

（自治体毎のマニフェスト発行状況詳細は別紙参照）

当財団としては残申請への対応や自動車リサイクルシステム全般に係る問合せ対応等のサポートを引き続き行う。

以 上

(別紙) 番号不明被災自動車の申請受付台数およびマニフェスト発行状況詳細(平成 24 年 10 月 31 日)

			A 申請数 (台)	B 総台数 見込み (台)※1	C 残数見込み (B-A) (台)	預託 進捗率 (A/B)	D 引取済 (台)	引取 進捗率 (D/A)
県	#	市町村						
青森県	1	八戸市	18	18	0	100.0%	0	-
		(小計)	18	18	0	100.0%	0	-
岩手県	2	洋野町	0	0	-	-	-	-
	3	久慈市	11	11	0	100.0%	0	-
	4	野田村	0	1	1	0.0%	-	-
	5	普代村	0	0	-	-	-	-
	6	田野畑村	71	71	0	100.0%	71	100.0%
	7	岩泉町	0	0	-	-	-	-
	8	宮古市	1,768	1,795	27	98.5%	1,726	97.6%
	9	山田町	246	400	154	61.5%	154	62.6%
	10	大槌町	164	164	0	100.0%	85	51.8%
	11	釜石市	72	267	195	27.0%	72	100.0%
	12	大船渡町	16	400	384	4.0%	15	93.8%
	13	陸前高田市	92	267	175	34.5%	95	103.3%
		(小計)	2,440	3,376	936	72.3%	2,218	90.9%
宮城県	14	気仙沼市	391	391	0	100.0%	329	84.1%
	15	気仙沼市(県庁申請)	117	117	0	100.0%	115	98.3%
	16	南三陸町(県庁申請)	60	97	37	61.9%	40	66.7%
	17	石巻市	4	2,000	1,996	0.2%	3	75.0%
	18	女川町	792	792	0	100.0%	41	5.2%
	19	東松島市(県庁申請)	92	118	26	78.0%	9	9.8%
	20	松島町	0	0	-	-	-	-
	21	塩竈市	10	10	0	100.0%	10	100.0%
	22	利府町	0	0	-	-	-	-
	23	多賀城市	71	89	18	79.8%	69	97.2%
	24	七ヶ浜町	32	32	0	100.0%	32	100.0%
	25	仙台市	4,466	4,576	110	97.6%	4,466	100.0%
	26	東京航空局(仙台空港)	102	102	0	100.0%	43	42.2%
	27	名取市(県庁申請)	85	120	35	70.8%	47	55.3%
	28	岩沼市	1,291	1,298	7	99.5%	1,288	99.8%
	29	岩沼市(県庁申請)	13	13	0	100.0%	13	100.0%
	30	亘理町	0	10	10	0.0%	-	-
	31	山元町	0	386	386	0.0%	-	-
		(小計)	7,526	10,021	2,625	75.1%	6,505	86.4%
福島県	32	新地町	61	64	3	95.3%	61	100.0%
	33	相馬市	0	67	67	0.0%	-	-
	34	南相馬市	0	103	103	0.0%	-	-
	35	浪江町	0	- ※2	-	-	-	-
	36	双葉町	0	- ※2	-	-	-	-
	37	大熊町	0	- ※2	-	-	-	-
	38	富岡町	0	- ※2	-	-	-	-
	39	楡葉町	0	調査中 ※3	-	-	-	-
	40	広野町	0	0	-	-	-	-
	41	いわき市	43	44	1	97.7%	42	97.7%
		(小計)	104	278	174	37.4%	103	99.0%
総合計			10,088	13,693	3,605	73.7%	8,826	87.5%

個別ヒアリングを実施した約 50 自治体への調査において、番号不明被災自動車が無いと、平成 24 年 8 月末までに回答した自治体は上表に記載していない。

※1 平成 24 年 9 月以降のヒアリングにおいて番号不明被災自動車が無いと回答した自治体は、表中「B 総台数見込み」を 0(ゼロ)としている。

※2 福島県浪江町、双葉町、大熊町、富岡町については警戒区域のため未調査。

※3 福島県楡葉町については、平成 24 年 8 月に警戒区域を解除されたが、被災自動車に関しては未だ仮置き場を整える段階との回答から「調査中」とした。